

関係者評価 評価報告書

対象年度 : 令和6年度

令和7年6月実施

美容専門学校アーティス・ヘアー・カレッジ

【目的】

- 本校が申告した自己評価結果について、様々な立場や知見者より評価を行うことで、自己評価

結果の客観性・透明性を高める

- 幅広い専修学校関係者との連携協力や理解促進によって学校運営の改善を図る

【役 割】

専門的かつ公平な立場から本校の評価を行う

【評価方法】

令和5年に関する事業報告/財務状況/自己評価結果等の報告において、下記の評価基準に沿って関係者評価・調査書にて各項目の評価及び運営改善のための専門的なご意見や改善策等の回答をお願い致します。

◎ 評価基準 ◎

- 自己評価結果の内容が適切かどうか
- 自己評価結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか
- 学校の重点目標や自己評価の評価項目等が適切かどうか
- 学校運営の改善に向けた実際の取組が適切かどうか

【結果の運用方法】

本校公式ホームページ（現在、情報公開ページは準備中となっています）にて、関係者委員の所属先及び氏名の個人情報を含めた関係者評価結果の情報開示を行い、上記の目的のほか高等教育機関等の補助金制度（日本学校支援機構 給付型奨学金）の対象校申請等の生徒への支援活動に役立てる為に使用致します。

また、結果の開示は、関係者委員全体の意見を集計した形で作成致します。各意見がどなたによるものかは分からない形で集計したものを掲載する事と致します。

何卒、公平な評価をお願い致します。

① 教育理念・目標

評価項目	自己評価	評価
① 学校理念・目的・教育人材像は定められているか	4	4
② 学校の特色は何か	4	
③ 学校の将来構想を抱いているか	4	
④ 学校理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか	2	

【評価・総評】

学校の教育理念について学校長に質問した所、教育活動のモットー・理想を実現する為に行っている事、今後の課題など、全ての事においてスムーズな回答を得る事が出来た。学校創設時からの精神が歴代の学校長に着実に受け継がれ、繋がっていると感じられた。

同様の質問を職員にした所、上層部の意思決定が教職員に通達される際は、決定内容のみではなく、その活動を行う事で実現できる目標や、具体的な根拠を添えて説明されるとの事。

学校長と教職員の間では、密な連携が取れており、目標をきちんと共有できていると実感できた。

生徒に示している目標や理念、将来を見据えて様々な経験の機会を与えている事は素晴らしい。

業界や情勢に対しての対応は非常に柔軟だが、教育理念など大きな方針は示せているものの

各場面や機会において学校側の意見や目的が明確化出来ていないように思われる。日常的に生徒へ細かく学校側の目的を伝える事も大事だが、教員側の向上も期待したい。

20年という長い年月をかけて培われてきた教育のノウハウだけではなく、卒業生や外部業者、同業他校との交流を通じて、法令やトレンドが日々激変する美容業界についての情報収集が、常に幅広く行われており、適切に方向づけられていると思われる。

学校の理念目的育成については、想いの強さを感じ取る事が出来る。しかしながら、保護者に対する周知徹底意識が低いと感じる。保護者にも情報共有を含めた周知徹底されることを願いたい。

② 学校運営

評価項目	自己評価	評価
① 目的に沿った運営方針が定まっているか	3	3
② 運営方針に沿った事業計画が定まっているか	3	
③ 運営組織や意思決定機能は、効率的なものとなっているか	4	
④ 人事・給与に関する規定等は整備されているか	4	
⑤ 意思決定システムは整備されているか	3	
⑥ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2	

【評価・総評】

就業規則・人事労務に関する規定などは、社会保険労務士によって作成されており、各種規定に関しては充分整備されていると感じられる。

今後は、労働時間の見直しによる残業時間等の削減により、無駄な人件費抑制につながるようさらなる労働環境の改善と、目標達成の維持に努めてほしい。

最近では、飛躍的にSNS等を活用した、学校の取組・活動を発信する事が当たり前となった事で、情報発信の内容や量・頻度が学校の評価として見られる事も多くなっている。このような活動により学生数の確保に直結すると考えている。その為、学校内の活動だけでなく、SNS運用が卒業生や在校生、学校とのつながりを持つ貴重な機会にもつながっていることは評価に値する。

今後も、SNSを活用し、地域への情報発信を積極的に行っていくべきだと思う。

ただし、情報発信を行う上で、個人情報流出するような事がないよう、十分に気を付けて欲しい。素晴らしい思想や取り組みが多いので、今後さらに有効に情報発信や活用を続けていく事で、より良い影響をもたらすと期待している。

③ 教育活動

評価項目	自己評価	評価
① 教育目標は、学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく定められているか	3	4
② 修業年限に対応した到達レベルは明確にされているか	4	
③ カリキュラムは体系的に編成されているか	4	
④ 関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	3	
⑤ 授業評価の実施・評価体制が定められているか	4	
⑥ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確化されているか	4	
⑦ 資格取得に関する指導体制、カリキュラム内での体系的な位置づけはあるか	4	
⑧ 育成目標に向けて授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	3	
⑨ 教員の能力を向上させる研修を行っているか	3	
⑩ 資格取得等に関する指導体制は確立されているか	3	

【評価・総評】

校内で対面授業を実施するだけでなく、今後オンラインをうまく活用する事でより多くのジャンルや美容の現場を知る機会が得られる可能性を秘めていると思う。生徒の希望就職先や職種が多様化している中で今後の動向に期待したい。

全ての授業においてその授業の目的や必要性をその先にある明確な目標より具体的なステップまでしっかり説明が出来る、生徒側からは自分が受けている授業の重要性について大きく認識が変わる可能性があると思う。各講師において授業の進め方や伝え方が様々になっていると思うので、生徒に対して何が友好的に響きやすいのか、他の講師はどういった説明をしているのかを学校側が把握するだけでなく、各講師同士でも授業評価を通して意見交換できれば、授業の内容の充実度及び生徒の理解ややる気の向上にも大きく影響をもたらすと思うので実践してもらいたい。

④ 学修成果

評価項目	自己評価	評価
① 就職率の向上が図られているか	4	4
② 資格取得率の向上が図られているか	3	
③ 退学率の低減が図られているか	4	
④ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	

【評価・総評】

美容師という仕事への大変さを理解させながらも、常に高い就職率を維持している事が素晴らしい。国家試験の資格取得がすべてではないが、資格取得に向き合う事は学生たちの今後にとって大きな経験となるので、学生にこれらの理解を得る機会を造花させ、より興味関心が高まるように指導していく事が大切だと考える。

また、国家資格を取得できなかった学生に対しての、フォローや支援も続けて行って欲しい。国家試験合格率が卒業生の進路だけでなく、生徒募集にダイレクトに影響が出る為、合格率改善はもっとも急務であると言える。

今回に至っては、設立史上最も低い合格率となっており、今後の課題といえる。

国家試験科目担当教員の再指導や、再度カリキュラムの見直しをする必要があると思われる。

退学・授業料滞納による除籍は減少傾向であると言えるが、退学者をゼロにするという事は非常に難しい事です。授業料滞納者へのこまめな請求、経済的な事情を抱えた生徒への奨学金や補助金等の案内、不登校がちな生徒へのコースの移籍を促すなど、教職員の生徒指導による、きめ細やかなフォローとたゆまぬ努力の結果、大幅な退学率が改善されていると思われる。学校全体で生徒へのメンタルケアや保護者への対応を柔軟に行っている事も評価できる。

今後は、不登校な生徒への提案として、オンライン授業での単位の取得なども視野に入れ、より一層のフォローを期待したい。

卒業生のその後の進捗や活躍については把握し難いが、SNS等を駆使する事により、生徒との繋がりを大事にし、卒業後の活躍を把握するだけでなく、在校生への掲示や、自らの将来を考えさせられる様な機会を与えられると、在校生のモチベーションにもつながるのではと思う。

新しい取り組みに関しては意欲は感じられるが、実行に移すまでには至っていないのが残念。より効果的に生徒へ良い影響を与えられるよう、それぞれの取組がブラッシュアップされる事を期待する。

⑤ 学生支援

評 価 項 目	自己評価	評価
① 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4
② 学生相談に関する体制は整備されているか	4	
③ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3	
④ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	5	
⑤ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	3	
⑥ 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	4	
⑦ 保護者と適切に連携しているか	3	
⑧ 卒業生への支援体制はあるか	2	

【評価・総評】

学生と教員の距離が近く、学生が相談しやすい環境だと感じる。

多感な年ごろの学生が多い為、身体だけでなく心のサポートが出来る環境を整備する事は、今後の学生にとって重要だと考える。

各種補助制度への適応や授業料納入危険の緩和など、学費に関するサポート体制は整備されており経済的な理由による学業継続が難しい生徒への対応も手厚く行われていると感じる。

また、遠方から来る学生の為の寮も完備されており、今後もこの水準を維持して欲しい。

学生の健康管理についても、年に1度の健康診断や、国家試験前のインフルエンザ予防接種など積極的に行っており評価できる。

就職にあたり、事前に税金や社会保険などの社会人になった際の基礎知識に関する指導においても税務署職員を招いた講習等を行うなどしている事を評価する。

今後も、就職後の雇用契約にあたり、知識不足による労使間のトラブルを回避できるよう、積極的に指導していく事が必要である。

在校生にとって学生生活における充実度や質の向上へつなげるためにも、各保護者とは密に連絡をとり、誤解のないよう進めていくべき。もう少し保護者とのつながりを強いものとしていく事が今後の課題といえる。

⑥ 教育環境

評 価 項 目	自己評価	評価
① 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	5	3
② 学内外の実施施設、インターンシップ等で十分な教育体制を整備しているか	2	
③ 防災に対する体制は整備されているか	3	

【評価・総評】

設備は、文部科学省の定める施設設備基準を満たしており、問題なく整備されている。

施設においても、築40年以上経過しているが、令和4年度に全館リニューアル工事を実施するなど生徒が充実した学生生活を送れるよう努力していると受け取れる。

今後は、将来の大規模修繕に備えるべく、積立等財政の健全化を目指すことが望ましい。

インターンシップが取り入れられていない点は、改善すべきである。学んだ知識や経験が、実際の現場ではどのように活用されるのか体験し、自分の職場適正や将来仕事で実現したい事、卒業までにどのような学校生活を送るべきかなどの課題を得る機会を与えるべきだと考える。

災害時における避難マニュアルは作るだけにとどまらず、いざという時に活用できるような体制を築くことが大切。本年度は、防犯カメラを設置するなど、セキュリティの面でも充実させている。

⑦ 学生の募集と受入れ

評 価 項 目	自己評価	評価
① 学生募集活動は適正に行われているか	5	5
② 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	5	
③ 入学選考は適正かつ平等な基準に基づき行われているか	5	
④ 学納金は妥当なものとなっているか	3	

【評価・総評】

オープンキャンパスや高校の進路指導室へのアプローチなど、過大な広告宣伝費用を使うことなく一定の効果を上げている事は素晴らしい。

学納金の価格設定に関しても、県内の他の美容学校と比較しても安価な設定になっていると言える。学びの意思があるにも関わらず、経済的な事情で進学が困難な生徒に対して、学習機会の場の提供につながっている。

昨今の景気動向・消費者物価数の変動を考慮しても、仕入れ原価高騰による材料費の価格見直しなどは検討する余地はある。

⑧ 財務

評 価 項 目	自己評価	評価
① 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	5	5
② 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5	
③ 財務について会計監査が適切に行われているか	5	
④ 財務情報公開の体制設備はできている	3	

【評価・総評】

ここ数年は、経常収支差益が黒字で続いている点は評価できる。

ただし、入学生徒数が減少傾向となっており、費用対効果の高い生徒募集を積極的に行い、生徒数を回復・増加させる事が急務といえる。

広告費支出の削減など評価できる点もあるが、経費削減には限界があり、収入増加の根本的な解決が必要である。授業料に比べて価格調整しやすい物販の売価を見直す事も検討すべきである。他校と比較して授業料が安価である事がアピールポイントではあるが、場合によっては授業料の見直しも視野に入れる事も必要であると考える。

⑨ 法令等の順守

評 価 項 目	自己評価	評価
① 法令、専修学校設置基準等の順守と適正な運営がなされているか	4	4
② 個人情報に関し、その保護の為の対策がとられているか	5	
③ 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3	
④ 自己評価結果を公開しているか	2	

【評価・総評】

各種教育法令及び設置基準は、各種ガイドラインに沿って適切に遵守運用されていると思われる。今年度より、学校関係者評価・財務状況を公表するようになった点は評価したい。

公共性の高い教育機関として、学校評価の情報を公開する事で、社会に対する説明責任を果たす事ができる。学校が積極的に組織や教育活動の内容を公開する事により、保護者や地域社会から信頼を得られる事にもつながり、教育活動の質の向上が見込まれる。

10 社会貢献・地域貢献

評 価 項 目	自己評価	評価
① 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	3	3
② 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3	
③ 地域に対する公開講座等を積極的に実施しているか	2	

【評価・総評】

学生の日ごろの振る舞いが原因の騒音や迷惑行為により、近隣住民からの苦情につながる事がある。生徒側に要因がある場合も多いが、世代・価値観の違う近隣住民との意識のギャップに起因する場合もある為、注意が必要である。

生徒自身にも、この地域の一員である事を自覚させ、マナー向上などのプラスの影響につながる事を期待する。

地域貢献活動や、公開講座など、現状では実現に至っていない状況ではあるが、学校活動を地域住民に知ってもらい、相互コミュニケーションを取り合い、教育活動への理解を得る事を目指す。

ボランティア活動においても活動が行えない状況ではあるが、少しでも地域に対して学校がどういう存在でありたいか、あるべきか、また地域貢献により生徒にどのような影響をもたらすのかなどをよく考え、目的をはっきりと示した状況で、学校全体で取り組んでいく事が望ましい。今後の活躍を期待する。